

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年3月29日			
	総事業費	789,285 千円			
	交付金額	263,095 千円			
	整備対象地域	瑠瑠瑠、納沙布、温根元、豊里、友知、西和田、東和田、長節、温根沼、東梅、酪陽、川口、幌茂尻、別当賀、落石東、齒舞、落石西、浜松、昆布盛、厚床、西厚床、東厚床、明郷、檜昔、湖南、初田牛、花咲港、双沖、及び穂香・月岡町・桂木・牧の内の各一部			
事業の内容	<p>根室市のブロードバンド環境は、平成18年に、市街地域で、民間事業者（NTT東日本）のFTTH（Bフレッツ）による超高速インターネットサービスが開始されたが、市街地域の周辺に当たる漁家や農家が点在する地域、及び市街地域から離れた郊外の地域では、ブロードバンド環境が未整備となっていた。</p> <p>そのため、市内全域のブロードバンドゼロ地域解消に向け、住民（ブロードバンド誘致推進の会）と通信事業者とが協力し、平成18年に齒舞地域にADSLサービスが開始され、遅れて平成19年に花咲地域、平成21年に厚床地域、落石地域にサービスが開始された。</p> <p>しかし、それらの地域においてもADSLの距離制限等によりサービスを利用することができない、ブロードバンド未提供世帯が存在し、対象地域住民から早期にブロードバンドの提供を要望されていた。</p> <p>当市は、東西にそれぞれ小集落が分散し、人口密度が低いことなどから採算性が問われる民間電気通信事業者によるブロードバンド環境の対策や整備が進まない現状があった。</p> <p>このため市内のブロードバンドゼロ地域の解消を市全体で取り組むには、FTTHによる情報通信基盤整備が有効であった。</p> <p>そこで、ブロードバンド未整備地区14地区640世帯（平成21年4月30日現在）及びADSL提供地区18地区1,315世帯（平成21年4月30日現在）にFTTHを整備し電気通信事業者にIRUで貸し出すことにより、超高速ブロードバンドサービスを提供可能とした。</p>				
BB	サービス開始日	平成23年4月15日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	1,955	1,955	1,892	1,819
	加入世帯数	586	782	645	992
加入率(%)	30.0%	40.0%	34.1%	54.5%	
評価及び課題	<p>・加入率の目標はサービス開始から早い段階で達成でき、世帯数の減少に反し現在も緩やかではあるが加入数も伸びており、ブロードバンドゼロ地域の解消という観点では一定の評価は出来ると考えている。</p> <p>しかし、ブロードバンドサービスの利用が当たり前となった現在、施設が不足している地域が一部発生しているため、現在も継続して施設の整備を進めている。また、市民のブロードバンド加入数は一定程度伸びたが、双方向の情報提供サービスなど、インターネットへの接続以外は目立った活用が提供できていない状況にある。</p> <p>・整備完了から5年が経過し、暴風雪の影響など施設の経年劣化が進み、修繕に係る経費や維持管理経費が年々増加しているなどの問題も抱えている。</p>				